

令和6年度事業報告

1 両施設の事業結果概要

今期は、福井県の長年にわたる悲願であった北陸新幹線県内開業が実現し、まちや人の流れに大きな変化が生まれ、未来への可能性が広がる「ふくい新時代」を迎えたところであり、福井県産業会館（以下「産業会館」という。）・福井県産業振興施設（以下「サンドーム福井」という。）両施設においても、「北前船寄港地フォーラム」、「全国育樹祭」、「法人会全国青年の集い」など全国各地から人々が集うイベントが開催されました。

一方、電気料金や燃料費の高騰、施設の経年劣化に対応するための修繕費や委託費の上昇などコストアップ要因は継続しており、当財団を取り巻く事業環境は引き続き厳しさを増しております。

こうした中、当財団においては、産業会館とサンドーム福井が密に連携して提案型営業活動を展開し、催事の複数回利用やコロナ禍により控えられていた催事の掘り起し、新規利用の開拓に努めました。

その結果、法人全体の事業収益については、サンドーム福井でのコンサート開催回数が過去最高を記録したこと等により、年間目標を大きく上回りました。

2 対処した両館共通の主な取組

(1) 営業活動

- ・昨年度に引き続き、各種イベント開催への需要回復が見込まれたことから、リピーターを中心に顧客満足度の向上に努めながら、積極的な営業活動を行いました。
- ・営業企画会議（毎月開催）において、両施設営業担当が営業成果や課題、効果的な営業方法を検討するとともに、会議結果および営業実績を役職員全員が情報共有して、両施設一体となった営業活動を進めました。
- ・両施設利用者の同業者や、利用者に関連のある取引事業者に対し、過去の利用事例などを基に、適切な利用方法などを丁寧に説明することにより、新規利用者の開拓に努めました。

- ・関係業界情報の収集と催事の開催増などを目的に、役職員によるコンサート主催者（新潟：6月）、展示会等主催者（中京：9月、関西：3月）への訪問営業活動を実施しました。
- ・展示場業界誌等を活用し、全国巡回イベントや県外のプロモーター、広告映像制作会社などにDM（ダイレクトメール）による営業活動を行いました。
- ・新たに、産業会館の本館展示場および多目的ホール、サンドーム福井の小ホールの利用拡大を図るため、事業所向け情報誌「F-ACT（ファクト）」（（公財）ふくい産業支援センター発行）に、施設利用の広報チラシを同封し、過去利用実績者、新規利用者の確保に努めました。（8月、県内企業・組合他 3,400 部）
 - 《施設利用広報チラシによる利用実績》
 - ・過去利用実績者 4 件
 - ・新規利用者 2 件

(2) 施設の維持管理

- ・「施設が商品」という認識の下、経年劣化に伴う建物の機能低下を最小限度に留めるため、各施設設備の修繕・更新の時期を調整し、経費の平準化を図りながら、必要な修繕・更新を計画的に行いました。

また、使い勝手の良さの維持、安全・安心の確保に向け、法令等に基づく定期の点検および不良箇所の補修を確実に実施しました。

《各施設の修繕・更新・補修の実施件数と金額》

施設名	区分	令和6年度	令和5年度
産業会館	件数	65 件	54 件
	金額	22,660 千円	25,966 千円
サンドーム福井	件数	63 件	61 件
	金額	17,235 千円	13,330 千円

- ・良好な景観を保持するため、両施設において、財団役職員で敷地外周の植栽管理業務（剪定、除草・除草剤散布、芝刈り等）を実施しました。
(4月～11月)
- ・夏季・冬季には、利用者の意向に応えつつ、デマンド監視装置を利用し、空調（冷暖房）・照明を効率的に運用することにより、消費電力量

等の節減に努めました。(通年)

(3) 情報発信力の強化

- ・HPにて、最新イベント情報や施設設備のスペック・利用料金など各種情報を分かりやすく迅速に提供するとともに、営業活動(利用者説明)にも活用しました。(通年)
- ・北陸新幹線県内開業にあわせて、HPやパンフレットの施設へのアクセス情報を更新し、発信しました。(4月)
- ・X(旧ツイッター)やメールマガジン(登録者数639人(3月末現在))などを活用し、週ごとに催事情報やリアルタイムのお役立ち情報の提供に努めました。(通年)

(4) 産業観光の情報提供

ア 両館共通

- ・館内において市町の観光ポスターの掲示や観光パンフレットの配置に加え、伝統工芸品の展示を実施しました。これにより、地域の観光地や県産品の魅力を広く紹介し、多彩な魅力を発信する場として活用しました。(通年)
- ・各市町から北陸新幹線県内開業に伴って新たに制作されたパンフレットを取り寄せ、配置しました。(4月)

イ 産業会館

- ・1号館ロビーに日本和紙クラフト協会の協力を得て、越前和紙を使った造花の桜を展示しました。これにより、館内に華やかさを演出するとともに、多くの来場者に地域の産業資源をより魅力的に紹介することができました。(7月～3月)

ウ サンドーム福井

- ・福井県立歴史博物館と相互協力し、福井にまつわる特別展(結城秀康、永平寺)のPRを行いました。(10月～11月)

- ・コンサート時に福井県PR出展コーナーを設置するとともに、新たにサンドーム福井オリジナルのお茶「サンドームに行こっ茶」（鯖江高校デザイン科生徒との協働制作）と福井県銘菓（大福あんぱん）のセット販売を行いました。（8月～随時）
- ・コンサート来場者のためにサンドーム福井や県内観光名所の写真を背景とした撮影スポットを設置し、観光情報を提供しました。（10月～随時、2月から常設）

（5）職員の育成等

- ・職員の営業力を強化するため、北陸財務局福井財務事務所の協力を得て、「北陸地域の景気動向や経済情勢」をテーマに、両施設で職場研修会を実施しました。（1月、令和3年度から継続）
- ・地震などの大規模災害に対応するため、防災士を講師に招き「災害対応研修」を実施し、来場者避難誘導等の初動対応行動を学びました。（2月）
- ・職員の管理運營業務等に有益な資格取得を支援する制度を活用し、冬季の除雪作業に不可欠な大型特殊免許（12月）を職員1名が取得し、同免許の取得者は職員12名のうち7名になりました。

このほか、役職員が小型車両系建設機械（整地等3t未満）運転（11月）、2級ファイナンシャルプランニング技能士（6月）、危険物取扱者免状（乙種第4類：11月、乙種第3類：2月）の資格をそれぞれ1名が取得しました。

（6）その他

- ・業務用サーバー更新に伴い、最新のファイアウォールを導入し情報セキュリティの強化を図るとともに、両館のインターネット回線を増設し通信障害を最小限に抑えるなど、情報システムの高度化を図りました。（10月～3月）
- ・管理運営事務のDX化として、各種請求書のデジタル保存や業務の一部に電子決裁を導入するとともに、ペーパーレスでのWeb会議を行うことにより業務の効率化を図りました。（11月～3月）
- ・「ふくいSDGsパートナー（令和4年6月登録）」について、前期に引き続き「次世代を育てる」ことに重点を置き、産業会館での親子が憩え

る空間の整備やサンドーム福井での自主企画事業の内容を充実しました。

《自主企画事業の内容》

おもしろフェスタ…ペットボトルのキャップを回収し、ふくいエコキャップ運動委員会を通じて「世界の子供にワクチンを日本委員会」に寄附。
地域感謝イベント…本県ゆかりの文学作品や絵本の朗読体験を通して子供たちの育成に貢献

- ・ 育児・介護休業法の改正に伴い、「子供は社会の宝、財団職員は全員で子育てを応援」を目標に育児支援規程を制定し、男性職員1名の1か月以上の育児休業取得に結びました。(7～8月、9～10月)
- ・ 役職員に対し、芸術・文化・スポーツなど自らが関心を持つ分野において、知識、技能の向上を図る目的のための活動に対して新たに助成を行うなど福利厚生の実施を図るとともに、生活習慣病予防健診の受診など各種健康推進活動を実施しており、昨年度に引き続き「健康経営優良法人」に認定されました。

3 産業会館の運営状況

(1) 年間目標と結果

- ・ 各展示場の利用日数については、民間事業者の新規イベントは増加したものの、北陸新幹線県内開業関連イベント等が想定以上に減少したことやこれまでに実績のあった飲食関連イベントが福井駅周辺にて開催されたことなどから、全体的に目標を下回りました。
- ・ 事業収益についても、1・2号館展示場の利用日数減少等により、目標を下回りました。

《展示場における主な催事》

リビングフェア 2024 (4月)

⑨ 第1回福井ミネラルマルシェ (6月)

フクイ建設技術フェア 2024 (9月)

北陸技術交流テクノフェア 2024 (10月)

⑨ 第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井 (11月)

[各展示場別利用日数および事業収益]

(単位：日、千円、%)

区 分		年間目標	年 度				目 標 達成率
			6	5	4	3	
利 用 日 数	1号館展示場	220	190	255	226	207	86.4
	2号館展示場	220	201	238	216	176	91.4
	本館展示場	155	144	191	170	109	92.9
	多目的ホール	165	153	192	177	152	92.7
事業収益		140,000	130,231	163,529	135,639	106,469	93.0

(2) 対処した主な取組

ア 施設等の管理

- ・施設設備を安全・安心・快適に利用いただけるよう、法令に基づく定期点検の確実な実施に加え、施設の長寿命化を目指した対策を計画的に進めました。
- ・「省エネ診断」での提案に基づき空調機のインバーター設置（12月）による温度管理を導入し、省エネ投資、施設の機能向上を図りました。
また、障がい者・高齢者等に優しい施設づくりのため、点字ブロックの修繕（12月）を行い安全・安心・快適な施設環境を整えました。
- ・防犯カメラ増設や芝刈り機導入による園地の自前管理など、施設管理の効率化と低コスト化を進めました。（10月～3月）
- ・施設の景観向上と来館者の憩いの場を創出することを目的に、歩道や広場などの外構整備および庭園の再整備を実施しました。（10月～3月）
- ・利用者が再生エネルギーを活用した電気の提供を受ける環境特約（かがやき GREEN MICE）の利用が出来るよう規程を改正し、電力事業者と追加契約しました。（利用実績1件）

《主な修繕工事等》

本館展示場南側 壁面総合修繕

2,310千円(11月完了)

防犯カメラ整備

3,784千円(11月完了)

1号館展示場西側 障がい者用点字ブロック修繕工事	2,068千円(12月完了)
本館展示場および2号館 インバータ冷却水ポンプ工事	1,430千円(12月完了)
2号館展示場 蓄電池更新工事	1,485千円(12月完了)
本館展示場 冷却ポンプ更新工事	1,760千円(1月完了)
2号館展示場 川崎 AR 吸収式冷温水機バーナー更新工事	3,410千円(1月完了)
外構整備工事	7,480千円(3月完了)
花壇修繕工事	1,430千円(3月完了)
	など

イ 情報発信

- ・HPについて、全ての貸室の予約状況を月2回（毎月1日、15日頃）定期的に更新し、空室の最新情報を利用者が確認できるよう努めました。
- ・HPにイベント内容を掲載するにあたり、可能な限り主催者からチラシ等の提供を求め、HPで公開するなど来場者がイベントの詳細内容を容易に把握できるようにしました。

4 サンドーム福井の運営状況

(1) 年間目標と結果

- ・イベントホールは、大規模な全国大会の開催やコンサートの増加に加え、コロナ禍で休止していた地元企業の福利厚生事業の利用再開がありました。さらに、新規の福利厚生事業の利用もありました。
- ・また、小ホールについても、紙の専門商社と「RENEW」との共同開催による紙とデザインのイベントや、大手デジタル事務機メーカーによるDXフェアなどの新規利用がありました。
- ・大規模修繕によりイベントホールの利用可能日が制限される予定でしたが、イベントと修繕の日程を再調整した結果、利用日数は最終的に目標を超えました。
- ・事業収益については、多くの収益が見込めるイベントホール利用においてコンサートが多数開催されたことなどもあり、過去最高となりました。

《イベントホールにおける主な催事》

第47回全国育樹祭 式典行事（10月）

第38回「法人会全国青年の集い」福井大会（11月）

《イベントホールにおける再開した催事》

5年ぶり開催 (株)鯖江村田製作所 (8月)

5年ぶり開催 (株)福井村田製作所 (11月)

《イベントホールにおける新規の催事》

クラシス(株) (7月)

[各ホールの利用日数および事業収益]

(単位：日、千円、%)

区 分	年間目標	年 度				目 標 達 成 率	
		6	5	4	3		
利 用 日 数	イベント ホール	160	188	186	192	157	117.5
	小ホール	130	128	138	136	123	98.5
事業収益		146,348	224,131	160,488	176,585	172,539	153.1

(2) 対処した主な取組

ア 施設等の管理

- ・第47回全国育樹祭式典行事などの全国大会開催に併せ、催事前1か月間を環境美化取組強化月間とし、生垣剪定や除草・除草剤散布のほか、高木剪定やガラス清掃、廊下ワックスがけなどを集中的に行いました。(9月)
- ・安全・安心・快適な利用に向け、法令および指定管理仕様書に基づく定期点検を実施したほか、設備・備品の定期的な更新、施設の長寿命化を図る小規模修繕工事を実施し、適切な維持管理に努めました。(通年)
- ・令和6年度中に福井県による9件の大規模施設修繕工事が実施されたため、工事を円滑に行うための施工期間の調整をしつつ、イベント利用による収益の確保を行いました。(通年)

((主な修繕工事等))

・サンドーム福井案内看板修繕 計5件 2,545千円(10月完了)

- ・ イベントホール外壁工事 計 3 件 1,254 千円(12 月完了)
- ・ 照明 L E D 化工事 計 4 件 1,870 千円(2 月完了)

《県による主な大規模修繕工事》

- ・ イベントホール照明 L E D 化工事 152,130 千円(3 月完了)
- ・ イベントホール空調熱源改修工事 155,556 千円(3 月完了)
- ・ イベントホール音響設備改修工事 166,331 千円(3 月完了)
- ・ 点字ブロック改修工事 14,382 千円(3 月完了)

- ・ 管理会議棟内の壁面案内表示の明確化や通路に設置したポップスタンド（案内看板）の撤去を行い、施設のバリアフリー化を進めました。（6 月～12 月）

イ 自主企画事業

- ・ 地域に賑わいを創出し、親しまれる身近な施設を目指し、県、市町、地元企業、関係団体や学校等と協力して、地域産業を振興するイベントや地域への感謝を表すイベント等を実施しました。

《実施した自主企画事業》

「おもしろフェスタ in サンドーム福井 2024」（8 月）

子どもたちの「ものづくり」への興味関心を深め、地域に賑わいを創出し、親しまれる身近な施設を目指し、県・関係市町、県内の科学系、工業系学校や企業・団体等と連携し、“ふくいのものづくり”を基本テーマとした展示・実演・体験イベントを開催しました。

（来場者数：約 6,600 人・参加団体数：80 団体）

「スポカル F U K U I 2024」（12 月）

県民のスポーツ・文化活動の活性化や、県民相互の交流を促すため、スポーツ&カルチャーを融合し、今回はさらに、e スポーツ等といった新しい参加体験型フェスとして開催しました。

（来場者数：約 7,100 人）

「サンドーム福井地域感謝イベント 2024」（2 月）

仲村水希朗読&トークショー

福井県出身の声優・仲村水希氏をお招きし、福井県ゆかりの文学作品の朗読と、声優のお仕事についてお話しいただき、子どもたちの育成に貢献しました。

（来場者数：約 100 人）

ウ 情報発信

- ・北陸新幹線県内開業により、施設へのアクセス経路が大きく変わることから、HP等の情報更新を行いました。（4月）
- ・北陸新幹線県内開業に伴う交通アクセス変更に対応するため、福井県が主催する鯖江市、越前市、各交通関連会社およびコンサート主催者との交通輸送体制の打合せに参加し、交通アクセス情報をHPに掲載するなど、来場者の利便性向上に努めました。（計16回）

県外からの来場者が多いコンサート時には、HPに特設ページを設けて、乗換や新設された越前たけふ駅シャトルバスの案内を行いました。（随時）

- ・福井伝統工芸アイドルグループ「さくらいと」を起用して、敦賀駅や福井駅での乗換えルートや鯖江駅から施設までの道順を案内した動画を作成し、公式YouTubeにて公開しました。（3月）
- ・バス事業者とタイアップした「バックヤードツアー」を実施し、コンサートの聖地としてのサンドーム福井の魅力を発信しました。随時の施設見学についても積極的に受け入れました。（通年 9件 63人参加）

5 その他

(1) 評議員会・理事会開催状況

- 令和6年4月1日 第1回理事会(書面)
議案 専務理事の選定の件(決議)
- 令和6年5月14日 第2回理事会
報告 理事長・専務理事の職務執行状況
議案 令和5年度事業報告および決算(承認)
令和6年度第1回評議員会の招集(決議)
- 令和6年5月30日 第1回評議員会
報告 令和5年度事業報告
議案 令和5年度決算(承認)
- 令和6年6月11日 第3回理事会(書面)
議案 令和6年度第2回評議員会の招集(決議)
- 令和6年6月18日 第2回評議員会(書面)
議案 評議員の選任の件(決議)
理事の選任の件(決議)
- 令和6年12月6日 第4回理事会(書面)
議案 令和6年度第3回評議員会の招集(決議)
- 令和6年12月20日 第3回評議員会(書面)
議案 役員等の報酬および費用弁償規程の一部改正について(承認)
- 令和7年3月25日 第5回理事会
報告 理事長・専務理事の職務執行状況
議案 令和6年度収支補正予算の件(承認)
令和7年度事業計画および収支予算の件(承認)
令和6年度第4回評議員会の招集(決議)
- 令和7年3月31日 第4回評議員会(書面)
議案 評議員の選任の件(決議)
役員等の報酬および費用弁償規程の一部改正について(承認)

(2) 福井県産業振興施設指定管理者外部評価委員会

令和7年3月17日に開催され、業務実施状況の評価としては、「概ね良好であり、全体的に努力していると評価できる」との結果をいただきました。